

## ⑤ 歯と口腔の健康

### 第2次計画期間における主な取組

保育所や幼稚園、小・中学校での歯科健診及び歯科保健指導、妊産婦・乳幼児・成人・障がい者等に対する歯科健診を実施しました。また、健診事業や市民講演会等で、口腔ケアに関するアドバイスや定期的な歯科健診の受診勧奨、歯周病と喫煙や全身疾患との関わり等について啓発を行いました。また、市民向けの啓発の拠点である、口腔ケアセンターを活用し、口腔ケアに関する情報発信や講座等を実施しました。

更に、高齢者の口腔機能の維持・向上のため、吹田かみかみ健口体操を作成し普及啓発を行うとともに、介護予防教室や講演会等においてオーラルフレイルについて啓発を行いました。

### 実績値及び評価

	策定時 実績 平成26年度 (2014年度)	目標値	中間評価 平成29年度 (2017年度)		最終評価 令和元年度 (2019年度)		最新評価 令和2年度 (2020年度)		
			実績値	評価	実績値	評価	実績値	評価	
① 3歳児歯科健診におけるむし歯のない幼児の割合	85.7%	90.2%以上	87.8%	b	89.0%	b	90.7%	a	
② 12歳(中学1年生)における永久歯のむし歯経験歯数	0.88本	0.65本以下	0.80本	b	0.58本	a	0.58本	a	
③ 成人歯科健診における進行した歯周病にかかっている人の割合	35~44歳	49.1%	40.5%以下	53.2%	d	55.1%	d	52.9%	d
	45~54歳	55.7%	46.0%以下	59.1%	d	60.2%	d	60.5%	d
④ 80歳で20歯以上の自分の歯を有する人の割合	65.8%	75.5%以上	68.6%	b	68.6%	b	69.4%	b	
⑤ 歯間部補助清掃用器具の使用者の割合※	35~44歳	60.8%	65.9%以上	64.4%	b	68.4%	a	71.5%	a
	45~54歳	66.2%	70.2%以上	70.2%	a	71.2%	a	72.9%	a
⑥ 75歳以上で口腔機能の維持向上の方法を知っている人の割合	10.0% (H28(2016))	11.3%以上	10.6%	b	15.3%	a	12.4%	a	
⑦ 食生活においてよく噛むことを重視している人の割合	28.4%	39.2%以上	—	—	26.6%	d	—	—	

分野別の総合評価			B	B	B
----------	--	--	---	---	---

※歯間部補助清掃器具とは歯間ブラシもしくはデンタルフロスを指します。

### 成果及び課題

目標値を達成している評価項目が多い中、「成人歯科健診における進行した歯周病にかかっている人の割合」は計画策定時より増加しています。

かかりつけの歯科医を持ち、定期的に歯科健診を受け、歯周病予防に取り組むとともに、自分に合ったセルフケア方法を身につけ、毎日実践することができるよう、口腔ケアセンターの活用を含めて更なる啓発等の取組が必要です。